

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。

- ここに示した内容は、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。
- ご使用されている警告表示および図記号の意味は以下のとおりです。内容をご理解の上、本文をお読みください。

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

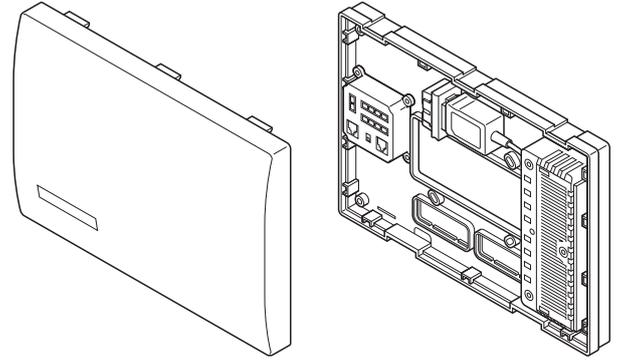
- 警告** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示しています。
- 注意** この表示を無視し、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害の発生が想定されることを示しています。

お守り頂く内容を次の図記号で説明しています。

- ⊘ 禁止（してはいけないこと）を示します。
- ❗ 強制（必ず守ること）を示します。

警告

- ⊘ 電源コードや内部機器を加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねないでください。また、重い物をのせたり、はさみこんだりしないでください。本製品や内部機器の故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- ⊘ 分解や改造をしないでください。故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
- ⊘ 濡れた手で扱わないでください。電源が接続された状態で本製品や内部機器の操作を行った場合、感電の原因になる可能性があります。
- ⊘ 本製品の内部に燃えやすいもの等の異物を入れないでください。高温によって、故障、発煙、火災の原因になる可能性があります。
- ❗ 付属の電源ケーブルを使用してください。本製品や内部機器の付属以外の電源ケーブルを使用した場合、故障、発煙、火災、感電の原因になる可能性があります。
- ❗ 電源をONにした状態で本製品や内部機器の操作や接続を行った場合、感電の原因になる可能性があります。
- ❗ 本製品や内部機器から発煙や異臭が生じた場合には、ただちに本製品のコンセントを抜いた上、施工業者様に修理を依頼してください。そのまま使用した場合、火災、感電の原因になる可能性があります。



施工事業者へのごお願い

- 施工前に必ずこの施工マニュアルをお読みください。
- この説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

注意

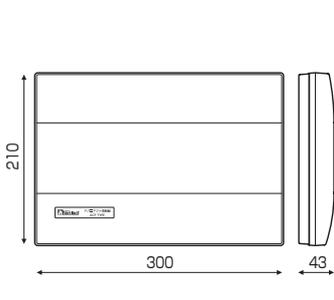
- ⊘ 以下の状態で使用しないでください。
 - ・本製品の周囲に十分なスペースが確保されていない状態
- ⊘ 以下の状態で使用しないでください。
 - ・直射日光のあたる場所 ・暖房器具の近くなど高温になる場所 ・台所、浴室、洗面所などの水気や湿気の多い場所 ・振動のはげしい場所 ・急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
 - ・ほこりの多い場所やじゅうたん等の保温性、保湿性の強い場所 ・腐食性ガスの発生する場所
 - ・強い磁気や電磁波が発生する装置がある場所 ・壁の中などお手入れが困難な場所 ・住宅以外の屋内設備（本製品は家庭環境における使用を想定しています）
- ❗ 定期的に製品内部の点検を行ってください。
 - ・本製品は、使用環境の影響や製品の劣化によって正常に作動しなくなる可能性があります。
 - ・定期的に本製品や内部機器の点検を行い、製品の変形、異常な発熱、焦げくさい臭い等が発生していないかご確認ください。
 - ・本製品の内部機器にほこりが付着すると湿気などで絶縁不良となり、感電の原因になる可能性があります。ほこりが堆積されている場合、コンセントを抜いた上で、ほこりを拭き取ってください。
 - ・気になる箇所が判明した場合には、ただちに使用を中止し、施工業者様にご連絡ください。

ご利用上のご注意

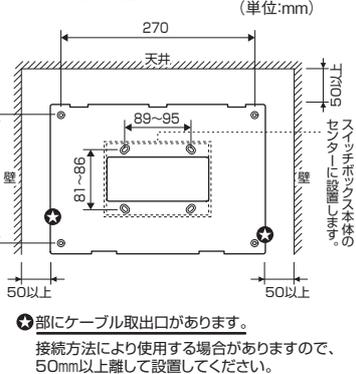
- 各種サービスのご利用には別途契約、及び利用料が発生します。
- 情報盤内部機器以外のネットワーク機器は、本システムには含まれません。
- 情報コンセント以降の端末機器は、本システムには含まれません。
- 本システムのネットワーク設定等はお施主様で行ってください。
- 記載の各仕様は、実際とは異なる場合があります。

外形寸法および取付寸法

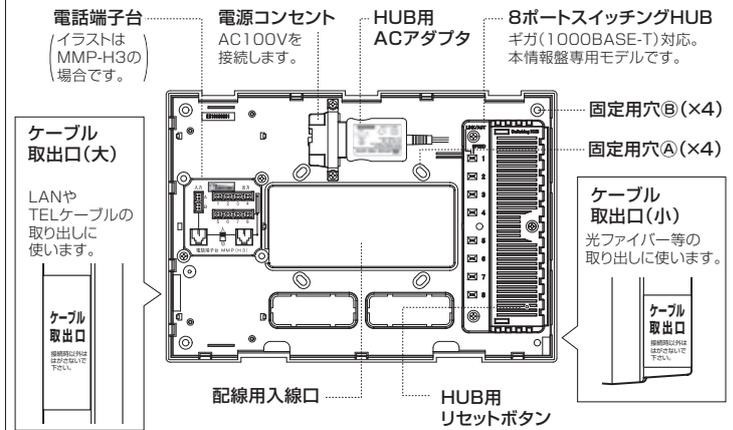
外形図



取付位置



各部の名称およびはたらき

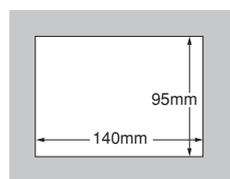


設置方法

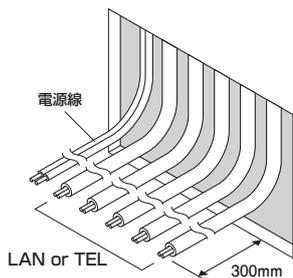
(1) 壁開口と線引出し

- ① 壁を140×95mmで切り欠きます。
- ② 保安器および情報コンセントまで配線した電源線 (AC100V) およびケーブル類を壁から300mm以上引出します。

壁切り欠き

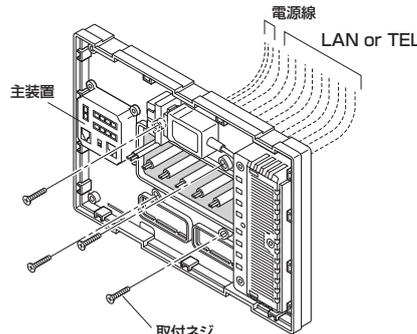


❗ 切り欠きすぎに注意してください。



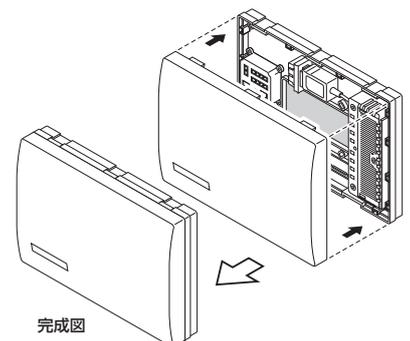
(2) 主装置の壁取付

- 主装置のカバーを外し、固定穴A④かB⑧を取付ネジで固定します。
※スゴ枠【推奨】(因幡電機産業製、型式:JRW-3)や3コ用スイッチボックスは固定穴A④で固定できます。



(3) カバーの取付

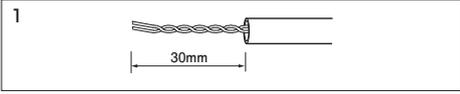
- ① カバー上部のツメを主装置全体に合わせます。
- ② カバー下部を押しはめ込みます。



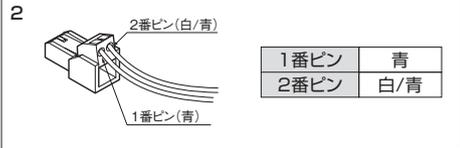
TELケーブル 結線方法

圧着ソケットケーブル結線方法

1. ケーブルシースを30mmカットします。
※使用可能ケーブル 導体径:φ0.5

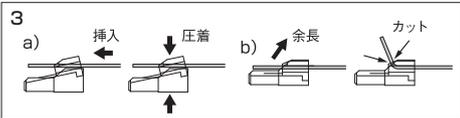


2. 添付ソケットに被覆ごと心線を挿入します。
ケーブル挿入の際、ケーブルの色とソケットのピンの関係は以下の様になっておりますので必ず確認してください。
※色はこの限りではありません。
コンセント側と合わせるようにしてください。

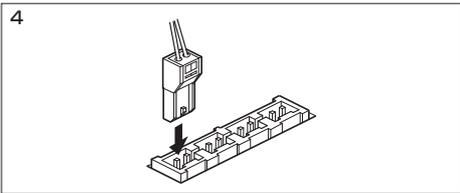


3. 電工ペンチを使用して、被覆ごと心線を圧着します。
a) 挿入口にケーブルを挿入し圧着します。
b) 余長ケーブルは持ち上げニッパ等で切断します。

※ソケットは一度圧着すると再圧着できませんので十分確認の上圧着してください。ソケットはポート数分添付しています。



4. 電話端子台のソケットプラグに接続します。



電話端子台ソケットの接続

お客様の電話・インターネット利用のご要望がわかっている場合は、ご利用状況に合わせて接続してください。不明の場合は、①加入電話回線で接続してください。

❗ 加入電話回線を解約して、光電話もしくはIP電話に変更される場合は、電話端子台の「入力」ポートに接続されている、加入電話回線の引込み線を外す、もしくは入力接続スイッチを「切」にしてください。

MMP (H3) の場合

各部名称

- ① 回線入力用プラグ
- ② ADSL用モジュラージャック
- ③ 居室出力用プラグ
- ④ 光 (IP) 電話出力モジュラージャック / ADSL出力 (TEL) 用
- ⑤ 入出力接続スイッチ

端子結線図

ON : 入, OFF : 切

① 加入電話 (アナログ)

スイッチは「入」に

② 光電話 (CATV・IP電話)

スイッチは「切」に

③ ADSL

スイッチは「切」に

MMP (K2) の場合

各部名称

- ① 居室出力用プラグ
- ② 回線入力 / 光電話 出力モジュラージャック

端子結線図

① 加入電話 (アナログ)

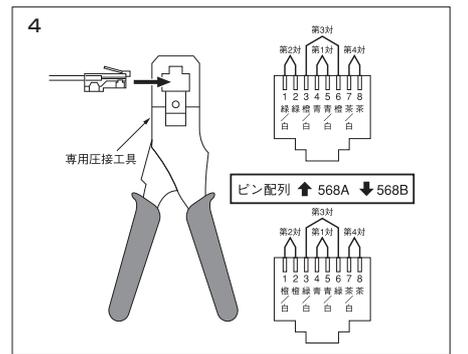
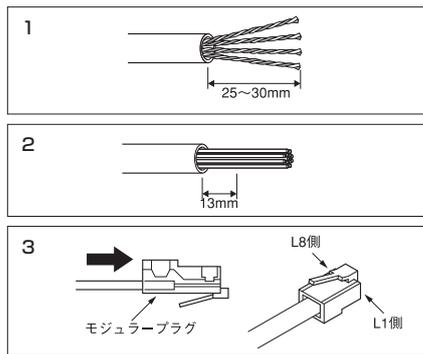
② 光電話 (CATV・IP電話)

③ ADSL

LANケーブル結線方法

LANモジュラージャック加工方法 (Cat5eの場合)

1. ケーブルの被覆を約25mm~30mm剥ぎます。
※芯線にキズを付けないようにしてください。
2. 芯線の撚りをもどし、シースの端から13mm残して切断します。
※ケーブルの残しは13mm以上にも以下にもしないでください。
3. ケーブルの先端の色線を以下のように一列に揃え、モジュラープラグの先端に突き当たるまで挿入します。
※ケーブル色線配列は568Aと568Bの2種類があります。
必ず情報コンセント側の結線と合わせてください。
4. ケーブルが挿入されたモジュラープラグを専用の圧着工具にて圧着します。
※ケーブルがプラグ先端まで突き当たり、抜けない様にしっかり圧着されていることを確認してください。



電源線接続方法



全ての作業は、コンセント本体を持って、実施してください。

※コンセント留め具が破損する恐れがあります。

1. HUB用ACアダプターを真っ直ぐ右へ抜きます。
2. 電源ケーブルを挿します。
3. 1.で外したHUB用アダプターを真っ直ぐ左へ挿します。また、ブレーカを上げHUBが起動していることを確認してください。
※電源が入ると、全ポートのLEDランプが一瞬点灯します。